

(様式 5-2)
(振興局調整費)

地域重点施策推進事業事後評価調書（令和2年度実施分）

地域振興局名 鹿角地域振興局

事業名	部名	部長名	担当課	担当班名	電話番号	事業目的・必要性	事業費 (円)	事業実施状況	事業実施主体	事業対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業効果 (成果・満足度)	自己評価
ねぎ生産の大規模生産 へ向けた収穫・調整技術 の向上支援	農林部	小林文夫	農業振興 普及課	産地・普 及班	0186-23- 3683	ねぎの売上げ1億円を目指した 大区画ほ場の整備等が完了し、 R3年度に本格的な作付けが開始さ れる。それに伴い、収穫・調整作 業について栽培技術や作業機械や、 雇用の効率的活用なることが予想 されるため、先進地の情報や作業 実態調査及び指導を行い、収穫調 整技術の向上に資する。	236,000	・ほ場づくりから収穫・出荷作業 まで、大規模化に伴う作業全般の 技術向上を支援するため、以下内 容を実施 (1)先進地視察研修 ①実施日:7/15 ②視察場所:能代市 ねぎメガ団地ほ場他 ③参加者:43名((農)末広ファーム 従事者24名、関係支援機関19名)	県	(農)末広 ファーム	令和2年6月24日	(1)先進地視察研修 (農)末広ファーム参加者の満足度 は高く、生産意識の高揚に繋がった。 また、支援機関からは、各種補助事 業の活用方法や、技術支援体制等先 進地の支援について、現地へフィード バックする点が多く、高評価を得た。	・末広ファームはねぎの作付け経験が 浅いため、先進地研修は、技術の向上 と意識の高揚に大きく貢献できた。 ・また、詳細な栽培管理技術については、 JA等の支援機関が研修を受けたことによ り、技術への理解度、指導力向上に繋がり 産地形成への貢献が期待される。 ・更に市などの支援機関と先進機械の活用 など低コスト化へ向けた取組などについて 情報共有し、支援手法などについて意見交 換することができた。 ・また、現地指導をよりタイムリーに行え たことで、病害により進行する品質低下を 防ぐことができた。
								(2)視察先農家による生産現地指導 ①実施日:8/25、9/16、2/4、2/16 ②指導場所:(農)末広ファームねぎ生産 ほ場 ③参加者:4名(末広ファームねぎ担当 者) (3)ねぎ栽培技術研修 ①実施日:12/11、2/10 ②視察場所:能代市農業技術センター ③参加者:農業振興普及課、JA営農指 導員 計3名 (4)現地指導機材の導入 ①購入機器:タブレット、マイクロスコ ープ ②使用:病害虫診断等等			令和3年5月20日	(2)視察先農家による生産現地指導 雑草防除や土寄せ時期等作業実施時期 と方法について、生育ステージと作業に 合わせ、4回に渡り実施したことで、(農) 末広ファームの担当者の生産技術向上が 図られた。 (3)ねぎ栽培技術支援 JA等指導担当者らは、先進地の育苗管 理技術を研修し、温度管理、灌水管理等 現地課題を解決できた。 (4)現地指導機材の導入 生産ほ場にて、発生病害、虫害、雑草ま でその場で調査・診断できたことで、末 広ファームはタイムリーな防除等対策が行 え、生産品質の維持に繋がった。	

事業名	部名	部長名	担当課	担当班名	電話番号	事業目的・必要性	事業費 (円)	事業実施状況	事業実施主体	事業対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業効果 (成果・満足度)	自己評価
クマに出会わないための講習会	農林部	小林文夫	森づくり推進課	林業振興班	0186-23-2275	近年、人家近くでのツキノワグマの出没が増加しており、人身被害も発生していることから、管内の自治会・学校関係者、林業事業体、森林整備事業受注者等を対象に、ツキノワグマの生態や不意の出会いを避ける知識を学ぶ講習会を開催し、ツキノワグマへの注意喚起と事故防止を図る。	93,720	ツキノワグマの生態や不意の出会いを避ける自衛方法を学ぶ講習会を管内3会場で開催。 合計114名が受講。 8/21 小坂町、鹿角市十和田 8/24 鹿角市尾去沢	県	一般住民、学校関係者、行政機関等	令和2年7月8日	講習会の開催周知について、鹿角市及び小坂町の協力を得て開催案内を全戸配布して周知したことで多くの参加を得ることができた。 クマの被害について、受講前は「防げない」と考えていた人のほとんどが、受講後は「防げる」と回答したことから、被害防止のための知識の普及につながったと考える。	・参加者の意識が、クマ出没対策は行政がすべきという考えから、行政と住民または、住民が実施するべきという考えに変化した。 ・また、クマ対策として何をしたらよいか分からないと回答した人が受講後に減少したことから、今後も講習会の継続開催と、クマ対策資材の展示などでより具体的な対策を普及していく必要があると考える。
											令和3年5月20日		
若手経営会議	総務企画部	伝農 満	地域企画課	企画・十和田八幡平観光班	0186-22-0457	コロナ禍において必要とされるIOT（注）利用等の新たなビジネス展開のキッカケづくりと意識醸成を図る。	18,096	秋田県産業技術センター職員による講話及び、IOTの利用等についての意見交換。 開催日：11/27、 場所：大湯温泉総合振興プラザ研修室 参加者：7名	県	若手経営者	令和2年4月1日	講話の内容について、各経営者から「観光や宿泊」「工事の安全管理」「発酵食品の生産」など自社の経営にIOTをどのように活用できるかといったやりとりが活発に行われた。会社の設備の老朽化や人材不足への対応という観点からも参加者の関心は高かった。	・IOT活用について関心を得られたことは良かったと思う。 ・講師から、秋田県のIOTは南高北低という話があった。手段であってありきではないという話もされたが、今後は産業技術センターへの視察を取り入れて実施できたらよいと思う。
											令和3年5月20日		
教育旅行PRツール作成事業	総務企画部	伝農 満	地域企画課	企画・十和田八幡平観光班	0186-22-0457	鹿角地域の魅力をPRするため、パンフレット等をまとめるクリアブックを誘客ツールとして作成し、当地域への受入拡大を図る。	467,500	管内の教育旅行に関する資料をまとめ、効率的にPRできるサイズとして、500部作成した。	県	旅行代理店、学校関係者	令和2年4月1日	鹿角地区と一目で分かる訴求力の高いクリアブックとなったことから、今後の誘致活動で活用していく。	・旅行事業者や学校関係者へ直接訪問する際に渡すほか、オンラインでの誘致活動においても事前に資料として送付する際に当地域への印象が高まるものと期待できる。 ・特に学校関係者には、引き継ぎ資料としても活用できるように配布していきたい。
											令和3年5月20日		